

科目	医療統計学	担当	堀 容子	履修学年	2年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

統計手法の理解は、リハビリテーション医学関連の研究論文を読むためだけでなく、データ解析を行う上でも必須である。本科目は、統計学の基本的な考え方や知識を学び、さらには、エクセルを使って計算をしたリグラフを作成したりするなどの演習を組み入れることで、医療統計学への興味や関心を持つようになることを目的とする。

【履修注意】

計算機とパソコンを使用するので必ず持ってくること。また、本講義の開始までに、実際にエクセルの作動を確認しておき、パソコンのメンテナンスをしておくこと。初回は1コマであるが、2回目以降は、2コマ続きで開講する予定であるので、講義初日に配布する講義予定表をよく見ること。

【評価方法】

授業態度自己申告表と課題レポートにて総合的に評価する。

【試験について】

中間まとめは実施しない 再試験対象者の条件： 総合的な評価が60点未満の者

【予習・復習】

学修時間は1単位45分が文部科学省指針です。1単位科目は90分の講義に対して45分、2単位科目は90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要です。

【教科書】

書籍名:リハビリテーション統計学 著者:石川 朗他 出版社:中山書店

【参考書】

書籍名:ナースのための質問紙調査とデータ分析 著者:石井京子・他 出版社:医学書院
 書籍名:Excelで学ぶ統計解析—統計学理論をExcelでシミュレーションすれば、視覚的に理解できる
 著者:酒井良幸他 出版社:ナツメ社

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	統計学の基礎の基礎①	統計はなぜ必要か？
2	統計学の基礎①	一次集計① データの分布と代表値 その1
3	統計学の基礎②	一次集計② データの分布と代表値 その2
4	統計学の基礎③	一次集計③ 分布の歪みと指標の使い方 その1
5	統計学の基礎④	一次集計④ 分布の歪みと指標の使い方 その2
6	関係を分析する①	相関;パラメトリック方とノンパラメトリック法 回帰直線
7	関係を分析する②	相関;パラメトリック方とノンパラメトリック法 回帰直線
8	関係を分析する③	カイ二乗検定 フィッシャーの直接確率計算法
9	関係を分析する④	カイ二乗検定 フィッシャーの直接確率計算法
10	平均値の差の分析①	ノンパラメトリック検定
11	平均値の差の分析②	ノンパラメトリック検定
12	平均値の差の分析③	パラメトリック検定
13	平均値の差の分析④	パラメトリック検定
14	平均値の差の分析⑤	対応のある平均値の差の検定
15	平均値の差の分析⑥	2変数以上の分析と多重比較
16	期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ